

No.	ページ	段	修正内容
1	全体		停留所に関する記述の統一 ① 「鹿児島市金生町」と「鹿児島（金生町）」が混在⇒鹿児島（金生町）に統一 ② 「知林ヶ島入口」「知林ヶ島」「エコキャンプ場」が混在⇒知林ヶ島入口に統一 ③ 「山川」と「活お海道」とが混在⇒「活お海道」に統一
2	全体		「運賃収益」を「運賃収入」に修正
3	全体		細かい文章表現の修正
4	29	中段	表の「旧ルートの概要」の横に，“（令和２年４月-令和４年９月）”の記述を追加し 「現行ルートの概要」の横に，“（令和４年１０月-現在）”の記述を追加
5	50	上段	「ニシムタ指宿線」を「ニシムタ指宿店線」に修正（下段の図の部分のタイトルも同様）
6	50	上段	「道の駅いぶすき行き」を「八幡神社前行き」に修正（表も同様）
7	99	上段	指宿市立地適正化計画（R5.10素案）の横に，以下の記述を追加 “※ 策定中の内容であり，今後変更の可能性あります。”
8	102	上段	広域幹線の項の「路線バス」は「広域路線バス」に修正 そのうえで，「鹿児島交通路線バス（広域幹線）」は，「鹿児島交通路線バス」に修正
9	102	上段	地域内幹線の項の「路線バス」は「市内路線バス」に修正 そのうえで，「鹿児島交通路線バス（市内路線）」は，「鹿児島交通路線バス」に修正
10	102	上段	地域内幹線-路線バスの項の「役割」の説明部分に，以下の記述を追加 “● 県補助を活用し，持続可能な運行を目指す。”
11	102	中段	地域内幹線-コミュニティバスの項の「役割」の説明部分で“主に高齢者の交通手段確保や”の記述を削除
12	103 -104	全般	運輸支局からの指摘を踏まえ、路線・系統別の具体的な役割を記載したページを追加
13	105	上段	公共交通の基本骨格部分を記述を，以下のように修正 広域幹線：利用促進を図るとともに，今後も確保・維持する。 地域内幹線：生活交通としての市民の移動手段を確保する。 地域の実態に合わせた交通モードを検討する。 観光交通として路線を維持・拡充する。 補完交通：利用者ニーズに柔軟に対応する。新たな交通の導入を検討する。 特定の交通：特定の利用者の移動を担う交通として他交通との適切な役割分担を図る。
14	105	図	薄緑色の網掛けを削除
15	105	図	点線の色を，102ページの区分に合わせる形に修正
16	105	図	生活拠点や観光拠点の位置づけを，指宿市立地適正化計画（案）に準拠した形に修正
17	107	上段	「公共交通の利用者数減少などによる」を「公共交通の利用者数減少，乗務員不足などによる」に修正
18	109	上段 中段	施策1-3について、キャッシュレス決済なども含めた「交通DX」や「MaaS」の記載を追加 取り組みイメージについて、九州の事例を追加
19	110	上段	施策2-1について、インバウンドを後押しするMaaSの記載等を追加
20	111	中段	施策2-2の取り組みイメージについて、九州の事例に差し替え
21	114	中段	取り組みイメージについて、「グリスロ潮待ちタクシー」の固有名詞を、「グリーンスローモビリティ」に変更し、トウクトウクの事例について、九州の事例に差替え
22	115 -116	全般	評価指標と目標値について、「データの取得方法」を追記 算出根拠などについて、詳細な記載に修正
23	116	上段	数値指標2-2について，多言語化対応実施件数は現状２件、目標４件以上に修正
24	116	下段	数値指標3-3について，沿線でのイベント開催回数を現況値12回，目標値12回以上に修正
25	125	表	委員の任期を記入（任期：令和４年４月１日～令和６年３月31日）